

『講師のための：秘伝の書38か条』

～現場で役立つ秘技&

ネタ作り・ブラッシュアップに取り入れたい裏技～（非売品）

01) 緊張するべし

緊張のないところに、良いパフォーマンスはない。
緊張感の作り方、楽しみ方を追求するべし。

02) ネタをくるべし

料理人も温め直して給仕する。
ベストパフォーマンスの追求は、ネタくりなしにはない。
特に、直前のネタくり、日常化するべし。

03) 開始3分以内にスイッチを作るべし

いかなる場合でも、レッドゾーンに踏み込むスイッチを作るべし。
パフォーマンスは安定し、状況に左右されなくなると知るべし。

04) 開始5分以内に聴衆を動かすべし

まずは、聴衆にアクションを与えることで、感覚を呼び覚ますべし。

05) 最初にダイジェストを見せるべし

全体の目的や設計図を、1分程度にまとめるべし。

06) 親近感を与えるべし

あのね、、、が、距離を縮める。
同じ目線の親近感が、食いつきを良くすると知るべし。

07) 早めに、エクスキューズを入れるべし

欠点、クレームポイントの傾向を知っておくべし。
そして、それを、最初にエクスキューズしておくべし。

08) まず、ティーアップするべし

ティーアップが、説得力を増し、聞き手の姿勢を変えたと知るべし。
連合ストラテジーを活用するべし。

09) 1対1のシーンをあえて作るべし

1対1の1は、集団の代表だと知るべし。知り合いの舞台は好意的になる。
簡単に与えられるプラスが、空気の醸成に役立つ。

10) 空気は作るものだと知るべし

講演会では、寄席よりさらに、空気作りは有効だと知るべし。
意図をもった細かな働きかけこそが王道となる。

11) 空気は底から上げるべし

反応の良い人、好意的な人を見つけて投げかけるのは、逆だと知るべし。
ネガティブに対する働きかけが、底上げに繋がる。
最終到達地点のグレードを上げるべし。

12) 笑わそうという邪念を捨てるべし

笑わせようというのは、邪念だと知るべし。
望む方向へのベクトルを生むストロークを投げかけることに集中するべし。

13) 一人称を活用して話すべし

会話を見せる。臨場感を高めることで、反応は大きくなると知るべし。

14) 2倍のキャパシティを意識するべし

テンションに対する理解がプロとアマの最大の差だと知るべし。
最適なテンションは、倍のキャパシティの意識にある。

15) コンテンツをクイズ化するべし

感情に変化を与える、最も簡単な方法だと知るべし。
感情の変化を生みやすく、聴衆を動かすことにも繋がる。

16) 自らの経験とリンクさせるべし

記憶に残るのは、何を聞いたかではなく、誰にどう聞いたか、だと知るべし。
すべてのコンテンツを、経験とリンクさせることの中にプロフェッショナル性はある。

17) 事実→誇張→飛躍の方程式を活用するべし

記憶にクサビを打ち込むには、感情の大きな変化が重要だと知るべし。
そのためのネタ作りの、最大方程式を意識するべし。

18) 身体を動かしながら話すべし

聴覚だけの通常モードが、有効なボディランゲージによって、視覚+聴覚のダブルモードになると知るべし。
見せるしゃべりを意識するべし。

19) とにかく自分が笑うべし

玉子よりもニワトリよりも、自分が笑うことが先だと知るべし。
自分が笑うために必要な準備を行うべし。

20) 鼻以外は全て使わせるべし

耳で聞く、目で見ると、手で書く、肌で感じる、口で話す、足を動かす。自らのコンテンツで、6種類をどうやって使わせるか工夫するべし。

21) 最初の5分間を固定するべし

最初の5分を文字にするべし。
原稿用紙5枚程度にまとめて、ネタくりを活用するべし。

22) 最後の10分間を固定するべし

終わりよければすべてよし。
最後のまとめは、いい話を意識して、残存効果を高めるべし。

23) 誰もが思っていることを口にするべし

最も簡単なプラスのアクションが、共感だと知るべし。
さりげなく、普通に、付け加えることを意識するべし。

24) あえてのスペシャル感を与えるべし

スペシャル感を意図的に与えるべし。
一斉にプラスの方向にベクトルが向くことを実感するべし。

25) 受講生同士にプラスの交歓をさせるべし

空気作りに最も効く方法論だと知るべし。
30秒程度でもオッケーなので、コンテンツをプラスの交歓に落とし込むべし。

26) アウトプットさせるべし

できるだけ早い時間に、何らかのアウトプットを意識するべし。
アウトプットさせることで、インプットの間隙ができるを知るべし。

27) 階段を上らせるべし

理想の状態に向かって、少しずつステップを踏ませるべし。
必ず、最高の盛り上がりには到達できると知るべし。

28) 想いをそのままの言葉で伝えるべし

本当に想いのあるところには、飾りは不要だと知るべし。
飾りを取り去った、そのままの言葉で、感情を揺り動かすべし。

29) フレームを与えるべし

どこに向かうのか、どれだけの量があるのか地図を渡すべし。
安心感が集中力を生むと知るべし。

30) キャッチフレーズを作るべし

キャッチフレーズ化が、学んだ感をサポートすると知るべし。
記憶にくさびを打つことを意識するべし。

31) キャッチボールをするべし

意図的なキャッチボールが、一方通行を阻止すると知るべし。
複数のパターンを準備し、対応するべし。

32) お土産を用意するべし

図、表、スローガン、キャッチフレーズ、お持ち帰りセットを明確にするべし。
お土産は、最後に再度口にして、残存効果を活用するべし。

33) あえて聞き取りにくい箇所を点在させるべし

聞き取りにくい箇所が、緊張と緩和の落差を大きくすると知るべし。
適度な集中力を意識させるために、オーディオ喋りは避けるべし。

34) ヘえ～ポイント、を作るべし

感情の変化には意図性が必要だと知るべし。
ヘえ～と思わせるポイントを用意し、反応を確認するべし。

35) ○○テストを行うべし

ゲーム性が高まり、参加意識が高まり、興味が湧き、感情の変化が生まれる。
○○テストが、最適な方法論だと知るべし。

36) 放送禁止用語を知るべし

言葉遣いひとつで、全否定されることがあることを知るべし。
社会一般的に、望ましくない表現は、知っておくべし。

37) プチサプライズを用意するべし

本番のどこかで、プチサプライズを用意するべし。
プチサプライズの方法論を、いくつかボキャブラリーとして持つべし。

38) 一生懸命話すべし

いついかなる時も120%を意識するべし。
大汗をかくべし、声を枯らすべし、筋肉をつけるべし。必ず伝わると知るべし。